

平成 25 年度第三回選挙管理委員会 資料

公益社団法人日本地球惑星科学連合

1. 開催日時 平成 25 年 11 月 18 日（月）から 19 日（火）
2. 開催場所 メール審議
3. 資料 セクションプレジデント候補者リスト

以上

2013 セクションプレジデント選挙 候補者リスト

候補者名	所属機関	抱負
宇宙惑星科学		
佐々木晶	大阪大学	EPS・連合誌、学生賞、ロードマップ、人材育成、国際協力等の長短期的な課題に関わり、分野のさらなる発展を確信しています。若い方が増えた代議員、会員、関連各学会と協力し、突破力のある宇宙惑星科学にしたい。
大気水圏科学		
中島映至	東京大学大気海洋研究所	引き続き大気・水圏科学分野における分野間連携の振興と新しい研究の創出に取り組んでいきたいと思ひます。新ジャーナルへの当分野からの貢献や連合大会・AOGS2014などのコミュニティー会合への貢献を推進します。
地球人間圏科学		
氷見山幸夫	北海道教育大学	地球人間圏科学は今や地球環境問題や災害に対処する上で不可欠の分野です。それを皆さんとともに一層深化発展させ、社会への更なる貢献につなげます。特にICSUが主導する地球環境研究計画Future Earthにしっかりと取組みます。
固体地球科学		
大谷栄治	東北大学大学院理学研究科地学専攻	私は、固体地球科学セクションの複数のフォーカスグループの創設と国際交流強化、連合ジャーナルによる国際発信の強化、新褒賞制度の導入、セクションのウェブサイトの新設の4課題への対応に努力したいと思ひます。
地球生命科学		
小林憲正	横浜国立大学	地球生命科学セクションは小規模ながら、学際性が高く、また、2014-5年には多くの関連する国際会議が日本で開催されます。これらを機に本セクションを国際的・学際的に高め発展させていきたいと思ひます。